



ツキノワグマ出没警報を11月14日まで延長します

9月9日から10月14日まで佐久・上伊那・木曽・北アルプス・北信地域に発出しているツキノワグマ出没警報について、対象地域の9月の出没状況及び堅果類豊凶調査結果より、クマの出没による人身被害のリスクが依然として高いことから、出没警報を11月14日まで延長します。

クマ出没警報発出期間

令和6年9月9日（月）から11月14日（木）まで延長

（延長前：9月9日（月）から10月14日（月）まで）

区 域

佐久・上伊那・木曽・北アルプス及び北信地域

※その他の地域に発出している「ツキノワグマ出没注意報」については
予定通り11月14日までとします。

延長理由

以下のとおり、里地での人身被害・目撃件数及び堅果類豊凶調査結果より判断しています。

- 佐久地域 : 里地での人身被害が発生したとともに、9月の目撃件数が平常年の3.1倍と高い水準で推移
- 上伊那地域 : 9月の目撃件数は平常年の1.8倍と高い水準で推移していることに加えて堅果類豊凶調査結果は不作
- 木曽地域 : 目撃件数が55件と多いことに加えて堅果類調査結果は不作
- 北アルプス地域 : 里地での人身被害が発生しているとともに、堅果類豊凶調査結果のミズナラ・コナラが不作
- 北信地域 : 9月の目撃件数が平常年の2.2倍と高い水準で推移

クマの目撃状況等（令和6年度）

別添資料及び以下のURLをご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/bear.html#kensuu>

県民の皆様へのお願い

※別紙「県民の皆様へのお願い 秋のクマに注意！」をご参照ください。

警報を発出していない地域の皆様も、人身被害を防ぐため引き続きご注意ください。

報道関係・市町村の皆様へのお願い

必要に応じて別添チラシをご活用の上、県民の皆様に対する注意喚起にご協力をお願いします。

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0
～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

（問合せ先）

担 当 林務部 森林づくり推進課
鳥獣対策係 塚平、田淵
電 話 (直通) 026-235-7273
(代表) 026-232-0111 (内線) 3264
F A X 026-234-0330
電子メール choju@pref.nagano.lg.jp

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

長野県林務部森林づくり推進課

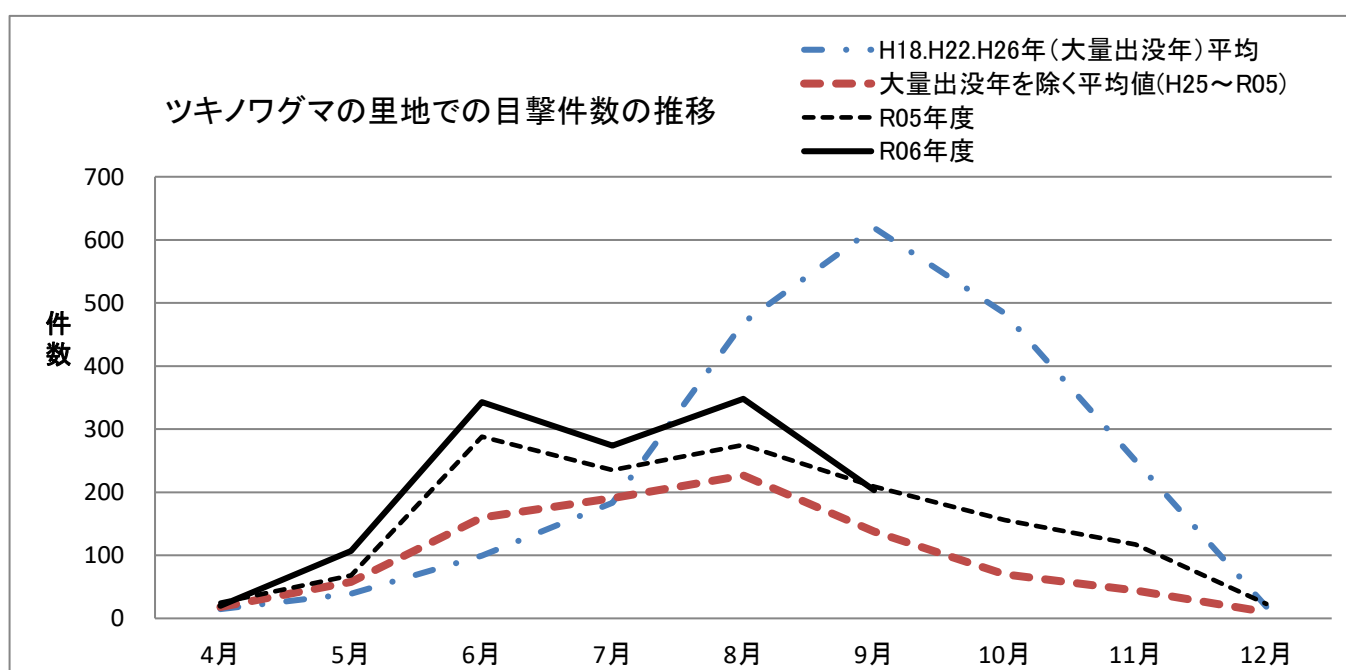
ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	1,591	14(14)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	-	476	3(3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	1,575	31(32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	0	582	6(6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	1	786	9(9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	20	3	2	600	6(7)
H30	22	92	183	158	182	55	23	18	9	7	749	5(5)
R01	18	64	196	291	334	207	125	68	16	13	1,332	8(8)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	10	1,437	12(12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	3	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	14	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	10	1,406	11(12)
R06	20	107	343	274	348	203					1,295	10(11)

※人身被害は林内での発生も含む。

網掛けのセルは大量出沒年。

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
H18. H22. H26年 (大量出沒年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出沒年を除く 平均値(H25～ R05)	18	58	160	191	227	138	70	44	10	914	8.4(8.6)
R05年度	25	68	288	235	275	209	156	117	23	1,396	11(12)
R06年度	20	107	343	274	348	203				1,295	10(11)



- ・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。
- ・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。

地域別の里地での目撃件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-9月 計	人身被害 件(人)
佐久地域	R06	1	8	20	24	40	34				127	1(1)
	平常年	1	8	14	22	30	11				86	—
上田地域	R06	0	3	1	4	3	0				11	0
	平常年	1	2	4	2	5	2				16	—
諏訪地域	R06	0	2	3	0	7	4				16	0
	平常年	0	1	1	1	2	1				6	—
上伊那地域	R06	0	0	20	17	20	11				68	1(1)
	平常年	0	1	8	9	9	6				33	—
南信州地域	R06	0	5	13	11	10	2				41	2(2)
	平常年	1	3	8	8	11	7				38	—
木曽地域	R06	1	36	91	61	68	55				312	0
	平常年	2	13	40	45	50	41				191	—
松本地域	R06	5	10	28	48	31	25				147	2(2)
	平常年	1	7	24	33	36	15				116	—
北アルプス地域	R06	1	22	69	40	45	8				185	2(3)
	平常年	2	8	27	25	27	27				116	—
長野地域	R06	2	9	54	26	34	12				137	1(1)
	平常年	3	10	20	28	40	17				118	—
北信地域	R06	10	12	44	43	90	52				251	1(1)
	平常年	5	9	24	25	34	24				121	—
計	R06	20	107	343	274	348	203				1,295	10(11)
	平常年	16	62	170	198	244	151				841	—

(人身被害件数は10月5日現在)

堅果類豊凶調査結果

【民有林の結果】		大凶作＜凶作＜不作＜並作下＜並作＜並作上＜豊作＜大豊作					
R 6 年度	豊凶判定						
(R5年度)	ミズナラ	コナラ	ブナ	クヌギ	クリ	クルミ	平均
佐久	不作	並作			並作		並作下
上田	並作下	並作下		大豊作	豊作	不作	並作
諏訪	不作	並作下			不作		不作
上伊那	並作下	並作		大凶作			不作
南信州	並作上	不作	不作	並作下	並作上	豊作	並作
木曽	不作	不作	不作		並作下	不作	不作
松本	並作	豊作			並作	豊作	並作上
北アルプス	不作	不作	豊作				並作下
長野	並作下	不作	豊作	並作	豊作		並作
北信	並作下	不作	不作	凶作			不作
判定平均	並作下	並作下	並作	並作下	並作	並作	並作

【国有林の結果】

地域	ブナ	ミズナラ	コナラ
北信	並作上	不作	並作下
中信・木曽	豊作	不作	並作下
東信	—	不作	並作
南信	凶作	並作下	並作

※記載のない枠は、国有林内で十分な調査対象木が選定できず評価できなかったもの

秋のクマに嚴重警戒！

○ 秋のクマは、冬眠に備えて脂肪を蓄えるため、エサを探し回ります

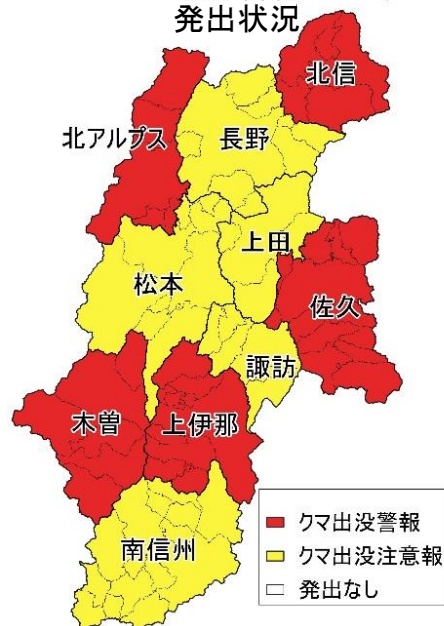
秋のクマは、冬眠に備えてブナ、ミズナラ、コナラ、クリなどのドングリ（堅果）をはじめ、ヤマブドウなど山にある食べ物を、昼も夜も探し回ります。

エサを求めて里地に出没し、カキやクリを食べることもあります。

○ 晩秋から、ツキノワグマは冬眠をはじめます

冬の間は食べ物がいないため、クマは 11 月中旬頃から概ね 12 月末まで※に、冬眠をはじめます。倒木の根本、木の根と地面とのすき間、岩穴、樹洞などのほか、背丈の高い笹ヤブの中などで冬眠しますので、入山時は近寄らないようにしましょう。※時期は目安です。地域やその年の気候により異なります。

ツキノワグマ出没警報・注意報
発出状況



クマと遭遇したり、里地に近づけたりしないよう下記に注意してください。

◇ 山の中や山の近くでは、クマ鈴、ラジオ、笛などを携帯する

クマは聴覚が人より優れており、人の存在を感じたクマは自ら逃げていきます。

クマ鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らして人の存在を知らせながら行動してください。

◇ 山に限らず里地でも、朝夕の行動は避け、行動する場合は複数人で

朝夕はクマが活発に活動する時間帯です。この時間帯に山の中または山の近くで行動することは避けましょう。

また、キノコ狩りや散歩、登山などで山に入る際は、1人で行動せず、複数人で行動しましょう。

◇ 周囲を確認しながら移動する

釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがあります。またキノコを採る森にはドングリを探すクマも現れます。キノコ等に夢中になりすぎないよう周囲を確認しながら移動しましょう。

◇ 食べ物の匂いを漏らさないよう注意する

クマは人間よりはるかに鋭い嗅覚があります。キャンプや登山等で山に食べ物を持ち込む際は、匂いの漏れない袋などへの密閉や残った食材は放置せず持ち帰るなど、クマを誘引しない心がけが必要です。人の食べ物の味を覚えたクマは危険を冒しても出没を繰り返すようになります。

◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

秋には、カキやクリ、リンゴなど豊かな実りがありますが、果実を収穫せず放置してしまうとクマのエサとなりクマを誘引してしまいます。収穫しない果樹はあらかじめ伐採すること、畑や果樹園等の周囲には電気柵を設置すること、ヤブは刈り払って見通しを確保するなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。また生ゴミもクマのエサとなります。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、クマが人を怖がらなくなるなど、人身事故の可能性が高まります。

※長野県では、ツキノワグマ出没（目撃）マップを掲載しています。

以下 URL よりご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/sangyo/ringyo/choju/joho/kuma-map.html>

△クマ出没警戒△

ツキノワグマ出没警報 発出中

令和6年11月14日まで

佐久・上伊那・木曽・北アルプス・北信地域

※その他の地域には出没注意報 発出中

クマに出会わないようにするため、以下の点に注意してください。

- 山の中や山の近くでは、
クマ鈴、ラジオ、笛などを携帯する
- 山に限らず里地でも、朝方や夕方の行動は
避ける
- 収穫しない果実（クリ・カキなど）を
放置しないなど、里地にクマを
寄せ付けない対策を



長野県